

まっぼっくり



学校教育目標「主体的に学び合い、達成の喜びを自信に変え、ふるさとを誇りに思う児童の育成」

縦割り班で話し合う児童

縦割り班

昨日、縦割り班活動についての全体での説明及び、班に分かれての話し合いを行いました。縦割り班活動とは、いわゆる異学年交流のことです。1年生から6年生までの異学年が同じグループとなり、そうじなどのいろいろな活動と一緒にやっていくことです。メリットとして異学年での縦のつながりができる、上級生としての下級生を見守る力がつく、下級生がまわりに合わせて動けるようになる、子どもたちが主体的に自分たちで考え動くようになる等があるでしょうか。今回はそうじを一緒に行いますが、カルタ大会、ドッジボール大会、漢字大会などいろいろなことができます。子どもたちが主体的に考え、いろいろな取組を通して失敗や成功を体験し、成長していきます。意義ある取組にしてくれることと思います。有意義な時間となる縦割り班活動を期待しています。



田植え

田植え みんな上手でした

雨の降る中でしたが、5年生は予定通り「田植え体験」を行いました。戸馳の池田さん、土地改良区の田尻さん、がまだす隊の皆さん、櫻井さん、戸馳運輸の尾崎さんなどたくさんの方々のご協力の下、貴重な体験ができました。教室では決してできないことです。ほとんどの人が毎日「ごはん」を食べています。生産に関わっている人がいるお陰で「ごはん」を食することができます。生きていくことができます。このことは当たり前ではなく、有ることが難しいことです。5年生には今回の体験をとおして、生産することの大変さや苦労、そしてなにより感謝の心を大きくして欲しいと思います。貴重な体験ができました。池田さん始め関わってくださったすべての方、本当にありがとうございました。今後もよろしくお願いします。



インド・アメリカから

自己紹介

国際色豊かな時代になったと思います。50年前、私が小学校時代は外国に住んでいる人は身近にはいませんでした。現在、5年生にインドから、3年生にアメリカからのお友達が三角小学校に来ています。とても素直で意欲的で日々の学習にみんなと仲良く取り組んでいます。本人の意欲とまわりのやさしさと思いやりに感心させられます。学習の様子を、私は安心して見守ることができます。子どもたちや先生方に感謝です。昨日全児童に自己紹介をしてもらいましたが、ネイティブの英語の発音でスラスラとスピーチしてくれました。ある2年生の子が「アメリカの人？」と間違えるぐらいの英会話力でした。みんなも感化されて英語の学習にいつそう意欲が出ることを期待しています。三角小学校からも将来世界に羽ばたく人材が出てくるのかもしれない。楽しみです。

